

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人津久見市社会福祉協議会

令和2年度事業報告

◆事業概要

人口減少社会を迎え、社会的孤立や貧困問題の深刻化、災害の増加、さらに、昨年度は、新型コロナの流行により、人と人とのつながりの分断を生み、これまでの「日常」という生活ができない状況にさらされています。

このような中、国においては、複合化、複雑化した課題を抱えても住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために、「住民に身近な圏域」において、地域住民がお互いに支え合いながら地域をともにつくる「地域共生社会」の実現に向けて、社会福祉法を改正し、地域づくりの強化や包括的支援体制の整備等が進められているところです。本会でも、新型コロナの感染拡大の時期と重なり、いくつかの事業を中止・縮小せざるを得ない状況でしたが、モデル事業「福祉まるごと相談事業」を受託し、断らない相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援という包括的な支援体制の構築を進めました。

令和3年度もコロナ禍の状況は続くと想定されますが、「誰もが互いに支え合い、安心して暮らせるつながりのあるまちづくり」を掲げ、これからも地域福祉の向上に取り組んでいきます。

1. 法人運営の基盤整備

①理事会・評議員会の開催

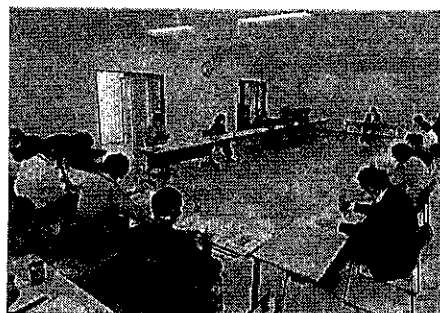
社会福祉協議会（以下「社協」）社協の運営・経営管理上の重要事項や適切な事業執行・基本方針等の決定を行うため、理事会・評議員会を開催しました。開催状況は下記のとおりです。

<理事会>

第1回 令和2年5月29日

議決事項

- 指定相談支援事業所「サポートセンター竹とんぼ」運営規程の一部改正について
- 令和元年度事業報告について
- 令和元年度一般会計収支決算報告について
- 令和2年度第1回評議員の招集について



第2回 令和3年1月29日

議決事項

- 育児介護休業等に関する規程の一部改正について
- 専決処分の承認を求めることについて
(新型コロナウイルス感染症対策事業補助金収支予算)
- 専決処分の承認を求めることについて
(給与規程の一部改正)

○令和2年度一般収支補正予算について

○令和2年度第2回評議員の招集について

第3回 令和3年3月22日

議決事項

○給与規程の一部改正について

○指定相談支援事業所「サポートセンター竹とんぼ」運営規程の一部改正について

○令和3年度事業計画について

○令和3年度一般会計収支予算について

○令和2年度第3回評議員会の招集について

<評議員会>

第1回 令和2年6月26日

議決事項

○指定相談支援事業所「サポートセンター竹とんぼ」運営規程の一部改正について

○令和元年度事業報告について

○令和元年度一般会計収支決算報告について

第2回 令和3年2月10日

議決事項

○育児介護休業等に関する規程の一部改正について

○専決処分の承認を求めることについて

(新型コロナウイルス感染症対策事業補助金収支予算)

○専決処分の承認を求めることについて

(給与規程の一部改正)

○令和2年度一般収支補正予算について



第3回 令和3年3月30日

議決事項

○給与規程の一部改正について

○指定相談支援事業所「サポートセンター竹とんぼ」運営規程の一部改正について

○令和3年度事業計画について

○令和3年度一般会計収支予算について

○福祉サービス等改善向上委員会委員の選任について

2. 財源の確保

① 会員制度の推進と寄付金について

社協の重要な財源の一つが、市民の方々などから寄せられた会費や寄付です。こうした財源は、社協が民間組織として活気ある運営と事業の推進に欠かすことのできないものです。

過去15年間の会員数の状況

年 度	住民会費 (500円/口)	賛助会費 (2,000円/口)	施設団体会費 (5,000円/口)	特別賛助会費 (5,000円以上)
平成18年度	7,205世帯	72事業所	14施設・団体	
平成19年度	7,165世帯	74事業所	13施設・団体	
平成20年度	7,126世帯	75事業所	18施設・団体	24名
平成21年度	7,051世帯	79事業所	20施設・団体	22名
平成22年度	6,869世帯	74事業所	21施設・団体	22名
平成23年度	6,910世帯	75事業所	22施設・団体	20名
平成24年度	6,838世帯	74事業所	21施設・団体	15名
平成25年度	6,778世帯	76事業所	18施設・団体	18名
平成26年度	6,578世帯	72事業所	22施設・団体	15名
平成27年度	6,595世帯	72事業所	23施設・団体	15名
平成28年度	6,481世帯	70事業所	23施設・団体	4名
平成29年度	6,388世帯	73事業所	24施設・団体	2名
平成30年度	6,307世帯	89事業所	24施設・団体	2名
令和元年度	6,186世帯	81事業所	22施設・団体	2名
令和2年度	6,128世帯	81事業所	25施設・団体	2名

過去15年間の香典返し・寄付金の状況

年 度	香典返し寄付	一般寄付
平成18年度	6,053,000円	307,918円
平成19年度	4,970,000円	168,883円
平成20年度	5,075,000円	103,560円
平成21年度	5,040,000円	244,852円
平成22年度	4,833,000円	295,458円
平成23年度	4,735,000円	302,908円
平成24年度	5,480,000円 (242件)	1,134,844円 (金銭742,244円、物品392,600円)
平成25年度	4,515,000円 (219件)	353,410円 (金銭260,027円、物品93,383円)
平成26年度	4,426,000円 (219件)	384,072円 (金銭63,272円、物品320,800円)
平成27年度	3,460,000円	353,981円

	(185件)	(金銭37,981円、物品316,000円)
平成28年度	3,227,000円 (162件)	267,575円 (金銭220,943円、物品46,632円)
平成29年度	2,496,000円 (140件)	1,403,119円 (金銭113,231円、物品1,289,986円)
平成30年度	2,133,000円 (141件)	152,187円 (金銭144,448円、物品7,739円、)
令和元年度	2,300,000円 (156件)	194,935円 (金銭181,975円、物品12,960円)
令和2年度	1,909,000円 (144件)	236,793円 (金銭236,793円、物品0円)

使途指定寄付金

年度	寄付金額	備 考
平成29年度	384,770円	災害ボランティアセンター運営のため
平成30年度	100,000円	障がい者福祉の増進のため
令和元年度	0円	
令和2年度	80,000円	フードバンク事業の運営のため

3. 保健福祉ゾーン構想の推進に伴う総合相談窓口の充実

津久見市の保健福祉ゾーン構想の一翼を担い、保健福祉に関する相談窓口の一元化を推進しました。



① 24時間365日対応総合相談窓口事業

土日祝日・夜間等に対応した相談等の実績

期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日集計

部署	平日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	平日 深夜 0:00~6:00	土日祝祭日 日中 8:00~18:00	土日祝祭日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	土日祝日 深夜 0:00~6:00	相談件数 合 計	対応内容		
							電話による 相談対応	現場にて、 緊急対応	問い合わせ・ 連絡調整
地域班 (前年度)	14件 (12件)	1件 (1件)	44件 (64件)	3件 (4件)	0件 (0件)	62件 (81件)	31件 (38件)	0件 (0件)	31件 (43件)
竹とんぼ (前年度)	17件 (13件)	0件 (0件)	11件 (28件)	1件 (1件)	0件 (0件)	29件 (42件)	10件 (12件)	0件 (2件)	19件 (28件)
包括 (前年度)	23件 (31件)	1件 (3件)	88件 (117件)	4件 (12件)	2件 (0件)	118件 (163件)	46件 (72件)	0件 (2件)	72件 (89件)
合計 (前年度)	54件 (56件)	2件 (4件)	143件 (209件)	8件 (17件)	2件 (0件)	209件 (286件)	87件 (122件)	0件 (4件)	122件 (160件)

生活全般の困りごと相談（離婚・相続・債務等）は、職員で対応し適切な機関へつなげました。

No	相談内容	R1 件数	R2 件数	No	相談内容	R1 件数	R2 件数
1	生計について	5	3	11	成年後見制度等について	2	1
2	年金について	0	1	12	人権・法律について	0	0
3	職業・生業について	0	0	13	財産について	1	1
4	住宅について	0	0	14	ストーカー・DVについて	0	0
5	家族について	0	3	15	児童について	1	1
6	結婚・離婚について	0	0	16	教育・青少年について	0	0
7	消費者トラブルについて	0	0	17	母子・父子について	0	0
8	ご近所トラブルについて	2	1	18	苦情について	0	2
9	健康・衛生について	1	2	19	その他（情報提供等）	6	3
10	医療について	0	1	合 計		18	19

※福祉制度や社協業務に関する相談は、計上しておりません。

※包括・竹とんぼに関する相談は、別紙にて計上しております。

②専門相談日の充実

複雑多様化する市民の方々からの相談に対処するため、専門相談日を設置し、ニーズに即した相談体制の充実を図りました。

	法テラスによる 法律相談		鳥越弁護士による 法律相談		司法書士による 法律相談	
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
4月	0	1	2	1	2	0
5月	1	1	2	1	2	3
6月	1	0	1	1	1	2
7月	0	1	1	2	0	2
8月	0	2	1	3	0	0
9月	1	1	0	0	3	0
10月	0	0	2	1	2	0
11月	1	4	2	2	2	1
12月	3	0	0	0	0	0
1月	1	0	2	1	2	1
2月	8	3	3	0	3	3
3月	3	6	0	1	0	1
合 計	19	19	16	13	17	13

③市民ふれあい交流センターの運営

市民ふれあい交流センターは、地域福祉活動の拠点として様々な事業に活用しました。

	大会議室		調理室兼中会議室		ボランティアセンター兼小会議室		談話室	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
4月	3回	32名	0回	0名	6回	20名	0回	0名
5月	3回	34名	0回	0名	3回	11名	1回	2名
6月	20回	234名	0回	0名	9回	33名	9回	21名
7月	15回	143名	0回	0名	13回	45名	8回	14名
8月	7回	66名	0回	0名	11回	37名	8回	23名
9月	9回	82名	0回	0名	11回	30名	5回	8名
10月	14回	147名	0回	0名	11回	35名	7回	15名
11月	14回	210名	0回	0名	11回	22名	12回	28名
12月	10回	95名	0回	0名	16回	53名	9回	17名
1月	12回	125名	0回	0名	8回	17名	10回	22名
2月	11回	109名	0回	0名	15回	43名	13回	38名
3月	23回	253名	0回	0名	23回	76名	17回	36名
合計	141回	1,530名	0回	0名	137回	422名	99回	224名

R1年度	232回	5,219名	28回	34名	175回	1,367名	171回	386名
------	------	--------	-----	-----	------	--------	------	------

※コロナウイルス感染防止のため、利用人数を制限しました。

4. 地域福祉事業の推進

住民同士が連絡・連携をしながら、お互いの生活を支え合っていくための活動や仕組み地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）を、それぞれの地域に合った形で取り組みを行えるように懇談会を開催しました。

①地区社協による懇談会・交流会等の開催状況（令和2年度21回）

日付	自治会名	場所	内容
6月1日	畑区	ふれあい交流センター	サロン運営
6月2日	宮本区	ふれあい交流センター	サロン運営
6月3日	四浦6区	ふれあい交流センター	サロン運営
6月5日	徳浦区	徳浦公民館	サロン運営
6月6日	入船区	入船公民館	サロン運営
6月7日	川上区	地藏町集会所	サロン運営
6月8日	千怒区両家	両家集落センター	サロン運営
6月8日	青江区	ふれあい交流センター	サロン運営
6月8日	堅浦区	堅浦公民館	サロン運営
6月9日	千怒区旭町	ふれあい交流センター	サロン運営
6月9日	川内区	川内会館	サロン運営
6月10日	千怒区6部	市営集会所	サロン運営
6月11日	徳浦区	徳浦公民館	サロン運営



(川上区社協総会)

6月12日	警固屋区	警固屋公民館	サロン運営
6月12日	畑区岩屋口	ふれあい交流センター	サロン運営
6月12日	彦ノ内区	彦ノ内公会堂	サロン運営
6月13日	千怒区	千怒3部集会所	サロン運営
6月16日	四浦3区田ノ浦	ふれあい交流センター	サロン運営
6月16日	長目区	ふれあい交流センター	サロン運営
6月18日	岩屋区えびす	ふれあい交流センター	サロン運営
6月23日	中田区	中田公会堂	サロン運営
6月23日	岩屋区高洲	岩屋公民館	サロン運営
6月29日	長目区	浦代公民館	サロン運営
6月30日	岩屋区(民生・推進員)	ふれあい交流センター	情報交換会
7月1日	江ノ浦区	江ノ浦公民館	サロン運営
7月8日	川上区志手町	志手町会館	サロン運営
7月11日	中田区	中田公会堂	サロン運営
7月21日	赤崎区	赤崎公民館	サロン運営
7月30日	福良区	福良公民館	サロン運営
9月24日	四浦3区	落ノ浦集会所	サロン運営
10月8日	網代区	網代真珠会館	サロン運営
10月9日	四浦1区	荒代公民館	サロン運営
10月13日	日見区	日見公民館	サロン運営
10月22日	岩屋区大友	ふれあい交流センター	サロン運営
11月4日	警固屋区	警固屋公民館	サロン運営
11月5日	四浦2区刀自ヶ浦	刀自ヶ浦公民館	サロン運営
11月17日	西ノ内区	西ノ内公民館	サロン運営
12月3日	川上区	志手町公民館	定例会
3月4日	無垢島区	交流センター	サロン運営



(中田区意見交換会)



(警固屋区意見交換会)

②地区社協設立状況(令和2年度)

No	地区社協名	設 立
1	地区社協青江	21年4月設立
2	地区社協福良	21年6月設立
3	地区社協四浦6	22年4月設立
4	地区社協徳浦	22年4月設立
5	地区社協警固屋	22年4月設立
6	地区社協網代	22年4月設立
7	地区社協江ノ浦	22年4月設立
8	地区社協赤崎	22年4月設立
9	地区社協川上	22年7月設立
10	地区社協日見	22年7月設立
11	地区社協千怒	22年10月設立
12	地区社協無垢島	22年12月設立



(岩屋区情報交換会)

13	地区社協四浦1	23年2月設立
14	地区社協四浦2	23年2月設立
15	地区社協堅浦	23年3月設立
16	地区社協川内	23年4月設立
17	地区社協入船	23年4月設立
18	地区社協西ノ内	23年4月設立
19	地区社協長目	23年8月設立
20	地区社協畑	23年10月設立
21	地区社協中田	23年10月設立
22	地区社協岩屋	24年3月設立
23	地区社協四浦3	24年9月設立
24	地区社協保戸島	24年9月設立
25	地区社協宮本	25年4月設立
26	地区社協彦ノ内	25年5月設立



(千怒区サロン運営説明会)

④ふれあいいいききサロン事業

「ふれあいいいききサロン」とは、小地域を拠点に、住民同士のつながりや絆を深めたり、高齢者等の孤立や閉じこもりの予防、生きがいつくり等を目的として進める活動です。

※ふれあいいいききサロン事業の実績は別に掲載しています。

⑤ふれあい出前講座

知識や知恵、技術をもつ市民の方々に講師として社協に登録いただき、地区での研修やふれあいいいききサロン等の講師として、派遣を行いました。

令和2年度 講師登録者：現在 33名・団体（無料）昨年度32

社協ふれあい出前講座メニュー		
No	講座内容	講師
1	健康講座（心と体の健康） レクリエーション指導	藤沢忠生（僧侶）
2	障がいと子育て支援について	NPO法人やまびこ理事 倉原英樹
3	紙芝居・朗読・紙工作等	図書館ボランティアたんぽぽ 福田由美子
4	お気軽健康体操	健康運動指導士 内田弘美
5	高齢者のための交通安全	津久見市交通安全推進協議会
6	交通安全教室	津久見市交通安全協会
7	うつ病・心の病について	精神保健福祉士 下田憲子
8	「尊い命」など	小田恭壽
9	おへまの介護保険	介護支援専門員 塩崎雄司
10	悪質商法撃退講座	大分県消費生活・男女共同参画プラザ
11	折り紙教室 居合演武	中津留弘 (津久見剣道連盟)
12	ストレッチ体操・ダンス	村上珠美



(内田弘美氏)

13	フラダンス教室	服部咲枝
14	高齢者の財産管理	鳥越徹（弁護士）
15	唄・踊り・劇・フラダンス	友情の会
16	ハーモニカ演奏で歌おう	日名子正嗣
17	健康づくり	日本3B体操協会平川千恵子
18	知って得する電気のはなし	九州電力(株)佐伯営業所
19	ノルディックウォーキング体験	インストラクター井戸川幸雄
20	ハワイアン・フラ	エンジョイツクミ
21	護身・空手による健康体操	山崎豊
22	はつらつ体操	しらうめ福祉会職員
23	いつでも元気な津久見市	介護老人保健施設サテライトみなみ
24	中国変面と手品	佐藤寛倫（ミスターシュガー）
25	マジック	上田治美
26	医療、福祉、災害全般	大分赤十字病院
27	尺八演奏 他	津久見尺八の会
28	食育	NPO法人日本食育協会山口幸代
29	ロン先生の日本昔話	佐藤寛倫
30	音楽全般	津久見音楽友の会
31	笑いヨガ	大分笑いヨガクラブ モジュンダル由美子
32	吹奏楽演奏	SORIN BRASS
33	筋トレ脳トレ活き生き教室	佐藤真奈美(日本ヨガ療法士協会)
34	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター社協職員
35	体操☆レクリエーション	社会福祉協議会職員
36	軽スポーツ教室	



(下田憲子氏)

○有料登録団体（個人）

社協ふれあい出前講座メニュー	
講座内容	講師
正しい薬の飲み方	NPO法人お薬研究会
県南落語	県南落語組合
シナプソロジー	麻生恵子インストラクター

○登録頂いた講師の方を派遣し出前講座を行ったケース（5ケース）※敬称略

日付	団体名	講師名
10月8日	中田ふれあいサロン	中国変面 ミスターシュガー氏
11月18日	福良ふれあいサロン	中国変面 ミスターシュガー氏
2月10日	宮本区なかよしサロン	体操 内田弘美氏
2月12日	宮本区なかよしサロン	体操 内田弘美氏
2月26日	岩屋口サロン	講演 下田憲子氏



(ミスターシュガー氏)

⑥障がい者交流事業（ふれあいバス旅行）

障がいのある方の中には、地域の中で交流する機会や外出の機会が少なく、生活状況が近所の方でも把握できない方がいます。このような状況の方々と接すると、表面化していない様々なニーズが潜んでいることに気付かされる場合があります。

社協では、この交流事業をとおして障がい者の社会参加の促進といろいろな方々との交流の場の提供、ニーズの把握等に努めています。

令和2年度は、コロナウイルス感染防止のため中止といたしました。

⑦福祉施設・事業所等連絡会の開催

津久見市福祉施設・事業所等連絡会

市内には、多くの高齢者や障がい者の施設や福祉の仕事をしている事業所があります。「津久見市福祉施設事業所等連絡会」とは、こうした施設や事業所の関係者が集まって、情報交換や意見交換をする場です。施設のある地域の人々はもちろん、多くの市民に施設の存在を知っていただき、施設同士でネットワークを組んで、津久見市の福祉の向上を目指します。

令和2年度は、コロナウイルス感染防止のため中止といたしました。開催に代えて、皆様からコロナ禍での事業への影響や課題等についてご意見を把握し、連絡会での情報共有と本会の今後の施策の参考とするためアンケート調査を実施しました。（調査対象：高齢者施設事業所16、障がい者施設事業所5）
(参加施設事業所：高齢者施設事業所16、障がい者施設事業所5)

⑧関係機関団体ネットワーク会議

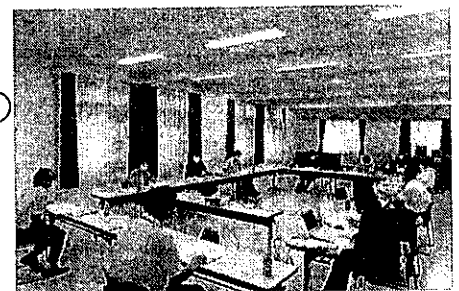
①区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の合同研修会の開催

地区社協活動を推進するうえで、まず、区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の三者の連携強化は欠かせません。この連携強化を図るために、三者の合同研修会を開催します。

令和2年度は、コロナウイルス感染防止のため中止といたしました。

②その他ネットワーク会議

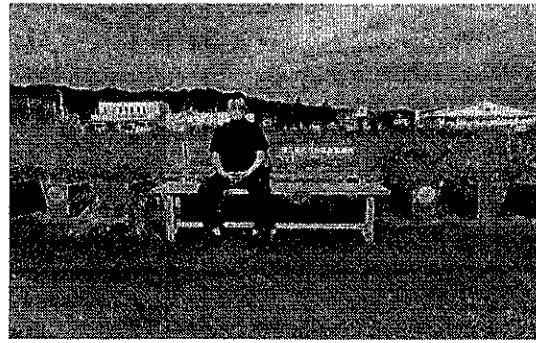
- ボランティア協力校連絡会議（6月30日）
- ボランティア連絡協議会代表者会（10月20日）
- 津久見小学校区連絡会（2月1日）
- 堅徳小学校区連絡会（11月24日）
- 青江小学校区連絡会（2月25日）
- 福祉施設事業所連絡会（中止）



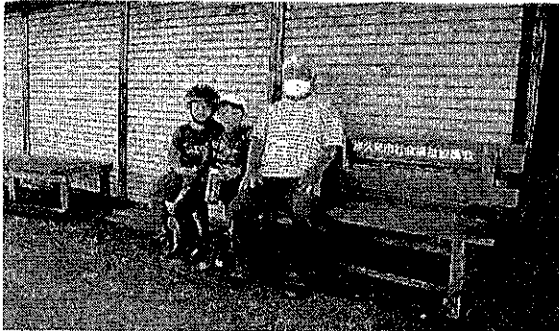
⑨ベンチ設置事業（共募・歳末配分）

津久見市建築士会の協力により、地区集会所、バス停留所にベンチを設置します。

令和2年度設置台数12台
共同募金による配分（川内区・網代区
四浦5区・岩屋区・警固屋区・川上区・
畑区、長目区等）



（岩屋区）



（警固屋区）



（四浦5区）

⑩地域助成事業（公募による配分）

市民の皆様から寄せられた共同募金を財源に、市内の福祉団体やボランティアグループ、自治会（地区社協）等の地域団体、社会福祉法人及び特定非営利活動法人等が行う市民の福祉向上のための取り組みに、助成を行います。

令和2年度助成団体(上限5万円)

- ・宮本区・川内区・手話サークル小嶋

5. ボランティア活動の推進

①ボランティアの登録及び支援事業：個人55名、グループ 24団体（430名）

グループ名	活動内容
・手話サークル「小嶋」	聴覚障がい者の手話通訳や交流活動
・ボランティアグループ「ふれあい」	施設での利用者の介助や行事介助等
・ボランティアグループ「のぎくの会」	各種イベント等の手伝い・福祉施設での作業手伝い等
・ボランティアグループ「ふれあい電話」	一人暮らし高齢者に対し、電話による安否確認
・ボランティアグループ「あけぼの会」	視覚障がい者の支援活動や交流活動
・図書館ボランティア「たんぽぽ」	図書館での朗読奉仕（子どもへの本の読み聞かせ）
・環境保全ボランティア「子ねずみ」	市内の海岸線、国道沿線、公園等の清掃活動
・修繕ボランティア	高齢者・障がい者世帯に訪問し、家屋の簡易補修
・つくみ環境美化グループ	市内の公園や周辺の植樹・緑化活動、清掃活動
・ボランティアグループ「りんり」	公園やイベント会場の清掃活動
・たけの子の会、紫の会	小学校の書写時に硬筆・毛筆の指導
・NPO法人ピースワーク	児童の自然体験学習他

・津久見音楽友の会	病院、施設等への訪問演奏
・収集ボランティア鈴の会	古切手や使用済みテレホンカードなどを中心に収集し福祉団体等に送付
・食生活改善推進協議会	食生活の改善指導等
・くすの木サークルパパーズ	小学校の児童のために、環境整備の手伝い（津小）
・くすの木サークルマザーグース	小学生に本の読み聞かせを行う（津小）
・おたすけ会	保戸島地区の高齢者・病人の通院、入院介助
・地域女性団体連合会	イベント運営支援など
・津久見高校ボランティア同好会	施設等での交流ボランティア
・友情の会	唄・踊りなどでふれあい交流
・シルバードライバー協議会	交通安全運動の推進
・野の花会	福祉施設への支援
・SORIN BRASS	吹奏楽演奏

（個人登録）

・服のリフォーム（2名）	高齢者や障がい者の服のリフォームを行う
・音訳ボランティア（4名）	市報や社協だよりをテープに音訳編集し、視覚障がい者世帯に郵送
・夏のボランティア体験月間（7名）	夏休みのボランティア体験月間をきっかけに登録
・出前講師個人登録（21名）	自分の技能・技術・資格を生かし講師登録
・出前講師団体登録（13団体）	団体として、講師登録
・その他（21名）	自分の出来る時間に活動

②ボランティアの斡旋状況：ボランティアを必要とする方への派遣を行いました。

令和2年度斡旋実績：年26回

ボランティア斡旋状況内訳		
ボランティア活動内容	件数	備考
・修繕ボランティアとして	8件	社協を介さず直接活動しているものは、計上しておりません。
・ふれあい出前講師として	5件	
・福祉体験学習講師として	9件	
・その他(古切手・シトラスリボン等)	4件	



（環境美化グループ）



（修繕ボランティア）

③ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティアに関する調査、育成・発掘、情報収集や発信を柱として運営を行っていきます。



○ボランティア活動に関する相談件数

相談内容	相談件数		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録に関する事	27件	32件	68件
派遣に関する事	30件	28件	16件
活動に関する事	88件	69件	65件
個人・団体等の支援及び意見交換	103件	98件	196件
情報提供・発信に関する事	44件	44件	47件
連絡協議会に関する事	21件	18件	14件
その他相談件数	29件	40件	19件
計	342件	329件	425件

令和2年度は、コロナウイルス感染の広がりにより、ボランティア活動の中止や縮小が増える中、コロナ禍での活動への影響や課題等についてご意見を把握し、連絡会での情報共有と本会の今後の施策の参考とするためアンケート調査を実施しました。（調査対象:ボランティアグループ 24団体）

④ボランティア協力校関係

ボランティア協力校とは、学校関係者と社会福祉関係者及び地域住民が協力し合って計画的・系統的に子ども達にボランティア活動の場や世代間交流の機会を提供し、その実践体験を通して「優しさ」「いたわり」「行動する勇気」と「自主性」を養い、社会奉仕と社会連帯の豊かな心をもつ人間として育てることを目的として創設された事業です。

令和2年度の活動協力校：市社協指定7校（小・中・高校）

令和2年度 ボランティア協力校活動実績

	津久見小学校	青江小学校	堅徳小学校
活 動 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 美化運動 地域の方々との交流事業 花いっぱい運動 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 (高齢者疑似体験・認知症サポーター等) 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 地域の方々との交流事業
		千怒小学校	保戸島小学校
	<ul style="list-style-type: none"> 福祉体験学習 めだか公園管理 一人一鉢花育て運動 	<ul style="list-style-type: none"> 地域清掃活動 田植え体験学習 	<ul style="list-style-type: none"> 空き缶回収 あいさつ運動 歳末助け合い募金活動

内容	第二中学校	保戸島中学校	・地域高齢者八年賀状
	・地域清掃活動 ・ペットボトルキャップ回収 ・花いっぱい運動	本年度休校	津久見高校 活動休止

○福祉体験学習について

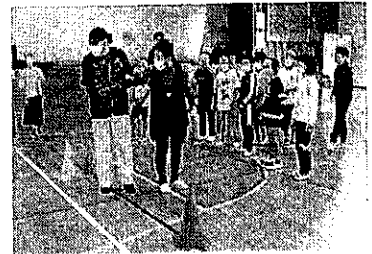
(社協職員と協力校とで福祉体験学習のメニュー作りを行い取り組みました。)

㊤堅徳小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

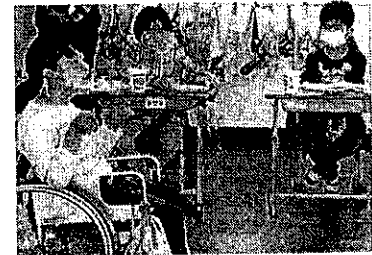
○講話・アイマスク体験（10月12日 4年生13名）

視覚に障がいのある長谷川真司氏を講師に招き、盲学校で過ごしていた当時の様子や普段の暮らしの中で不便な事についてのお話をしていただき、その後、アイマスク体験を行いました。



○絵手紙教室・車イス介助体験（10月26日 4年生 13名）

車いすで生活をしている原野彰子氏を講師に招いて絵手紙体験教室と普段の暮らしの中で不便な事についてのお話をしていただき、その後、車いす介助の体験を行いました。



○高齢者疑似体験学習（11月10日 4年生 13名）

高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



㊤津久見小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

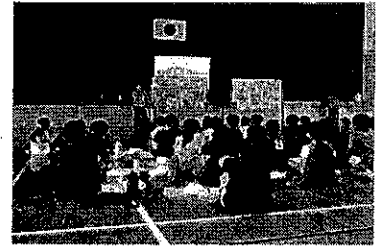
○高齢者疑似体験教室（6月25日 4年生 46名）

高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



● 認知症サポーター養成講座（7月17日 4年生 45名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。認知症の人やその家族が困っていたら、優しく声をかけたり、あたたかく見守るなどの手助けができるように学習を行いました。



● 絵手紙教室・車イス介助体験（9月14日 4年生 46名）

車いすで生活をしている原野彰子氏を講師に招いて絵手紙体験教室と普段の暮らしの中で不便な事についてのお話をいただきました。



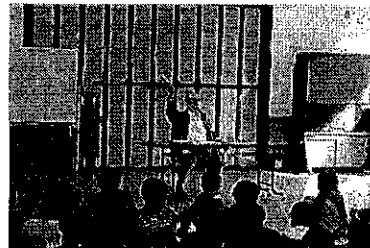
● 障がいについて学習会（11月9日 4年生 46名）

サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



● 講話・アイマスク体験（11月17日 4年生 46名）

視覚に障がいのある麻生恒雄氏を講師に招き、パラリンピックに出場した時の話やユニバーサルデザインなどの話を聞きました。



● 車いすバスケットボール（12月4日 4年生 46名）

車いすバスケットの選手たちと交流会を行いました。事前に準備した質問に選手たちが答えてくれた後、車いすバスケットの体験を行いました。



◎青江小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4・5・6年生が取り組みました。

● 絵手紙教室・講話（11月16日 4年生 27名）

車いすで生活をしている原野彰子氏を講師に招いて絵手紙体験教室と普段の暮らしの中で不便な事についてのお話をいただきました。



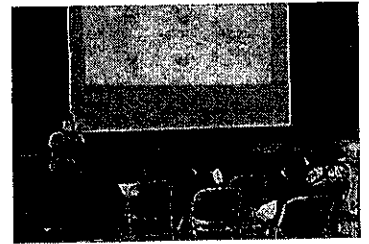
○ 絵手紙教室・講話（11月20日 5・6年生 37名）

車いすで生活をしている原野彰子氏を講師に招いて絵手紙体験教室と普段の暮らしの中で不便な事についてのお話をいただきました。



○ 認知症サポーター養成講座（12月3日 4年生と保護者 45名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。認知症の人やその家族が困っていたら、優しく声をかけたり、あたたかく見守るなどの手助けができるように学習を行いました。



○ いのちの授業（2月19日 4年生 27名）

大分県助産師会から講師をお招きし、いのちの授業を行いました。神秘的ないのちの誕生や妊娠、出産の知識をわかりやすく伝え、知ってもらうことによりいのちの尊さを学びました。



○ 車いすバスケットボール（12月20日 4年生 28名）

車いすバスケットの選手たちと交流会を行いました。事前に準備した質問に選手たちが答えてくれた後、車いすバスケットの体験を行いました。



◎ 千怒小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

○ 認知症サポーター養成講座（11月6日 4年生 32名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。認知症の人やその家族が困っていたら、優しく声をかけたり、あたたかく見守るなどの手助けができるように学習を行いました。



⑤夏のボランティア体験学習

夏休みを利用した、ボランティアな福祉活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の現状やその中で行われる福祉活動に対する理解と、ボランティア活動への積極的な参加を促進するものです。

令和2年度実績：2施設において7名の高校生の方々がボランティア体験を行いました。（令和元年度は14名参加）



（保育園にて）



（介護施設にて）

6. 災害に関する取り組み

大規模災害や局地的豪雨災害などによって被災した地域の復興や被災者支援における災害時のボランティア活動の重要性を認識し、災害ボランティア事前登録や育成、さらには活動環境の整備を進めました。

①災害ボランティアの事前登録及び育成に関すること

市内外で起こる大規模災害から局所的な災害に備え、万が一災害が起きたときに迅速かつ効果的に復旧復興活動が行えるように事前の災害ボランティア登録制度を進めました。また、平常時から登録したボランティアの研修、情報交換などを行いました。

◆災害ボランティアの事前登録者

団体登録 … 9団体（423名）

個人登録 … 3名

※その他災害ボランティア 17名（被災地へ直接支援）

②災害ボランティアセンターの体制整備に関すること

災害ボランティアセンターの運営を支援するボランティア関係機関、団体、企業、NPO、行政などが連携し、被災者ニーズに即し、円滑に支援できる体制づくりを進めるために、災害ボランティアネットワーク連絡会を設置し、情報交換や研修などを行いました。

◆災害ボランティアネットワーク連絡会参加団体

参加団体 … 10団体

- ・大分教区カリタス カトリック津久見教会
- ・グリーンコープ生活協同組合おおいた
- ・天理教大分教区被災者支援チーム
- ・津久見市防災士会
- ・津久見市民生委員児童委員協議会
- ・大分県建築士会 津久見支部
- ・中部振興局 総務部第1班

- ・津久見市コミュニティ防災課
- ・津久見市職員労働組合
- ・うみかぜラヂオ

◆災害ボランティアネットワーク連絡会の開催状況

災害ボランティアネットワーク連絡会

月 日	参加者	協 議 内 容
9月16日	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で災害ボランティアセンターの運営を見据え、訓練を兼ねたリモート形式で会議を開催 ・津久見市災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直し ・日田市災害ボランティアセンターへ職員派遣の状況報告 ・参加団体から被災地支援の活動報告

③災害ボランティアセンターの周知（センターの役割を市民へ知っていただく）

日 時	説明会	参加人数	場 所
9月25日	下浦地区民児協	9名	堅浦公民館

④被災地支援として職員派遣

◆日田市社協へ支援

派遣日	派遣人数	派遣日	派遣人数
7月10日	2名	8月1日	2名
7月11日	1名	8月3日～4日	2名
7月28日～29日	2名	8月5日～6日	2名
7月30日～31日	3名	8月11日～12日	2名

7. 県社協よりの受託事業

①日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）

判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きやそれに伴う日常的な金銭管理等を行い、在宅や施設・病院における日常生活を支援する事業です。

<利用対象者>

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方

<支援サービス内容>

- ◆福祉サービスの利用援助
- ◆福祉サービスに関する情報提供
- ◆福祉サービス利用料の支払い援助
- ◆日常的な金銭管理サービス
- ◆年金、手当などの受領確認
- ◆日常的な生活費の払い出し、預け入れ
- ◆医療費、公共料金、家賃等の支払い等
- ◆書類、通帳、保険証書、実印、銀行印等の預かりサービス

<利用料>

①専門員による訪問相談、支援計画の作成	無 料
②契約後の生活支援員による援助 ・福祉サービスの利用のお手伝い ・日常生活に必要な手続きのお手伝い ・日常的なお金の出し入れのお手伝い	1回あたり1,330円
③大切な書類などのお預かり	1カ月あたり500円

<申込方法>

津久見市社会福祉協議会に備えてある利用申込書により申請していただきます。
事前にご本人と面会し、専門員が相談調査を行います。

<例えば> 通帳や印鑑の紛失や、家賃や新聞代の支払いを忘れてしまうことが多くなり、遠くに住む家族も心配になっていたAさん（ひとり暮らし高齢者）の場合。あんしんサポートセンターの生活支援員が、月に2回の訪問（回数は利用者ごとに話をして決定）をする中で、家賃や新聞代の支払い、生活費の支払いを支援して月々の滞納をなくし、通帳や印鑑については、あんしんサポートセンター内の金庫にて保管することで紛失を防ぐこととなった。

利用者区分	相談、契約の状況						相談内容
	相談件数			契約件数			
	H30	R1	R2	H30	R1	R2	
認知症高齢者	4	1	3	0	0	0	・ 日常の金銭管理 ・ 福祉サービスの利用について ・ 今後の生活設計等について ・ 事業についての内容照会
知的障がい者	2	2	3	2	2	1	
精神障がい者	2	3	3	1	2	1	
その他	0	0	0	0	0	0	
計	8	6	9	3	4	2	

*令和2年度末契約件数：9件（令和元年度9件）

内訳（認知症2件、知的障がい者5件、精神障がい者2件、解約者2件）

②生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、他の貸付制度が利用できない所得の低い世帯、障がい者や高齢者世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、資金の貸付と必要な相談支援を行います。

<貸付対象者>

◆ 低所得世帯

世帯の収入が本事業の収入基準（生活保護費の1.8倍以内）を超えない世帯

◆ 障がい者世帯

身体・知的・精神等の障害者手帳の交付を受けた方の属する世帯

◆ 高齢者世帯

日常生活上、療養または介護を必要とする、おおむね65歳以上の高齢者が属し、その収入が本事業の収入基準を超えない世帯

<貸付金の種類>

◆ 福祉資金

低所得者、障がい者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立及び在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

- ◆教育支援資金
低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するために必要な経費を無利子で貸付する制度です。
- ◆総合支援資金
失業や減収により生計維持が困難になり、生活再建のための継続的な相談支援を必要とする世帯に対して資金を貸し付ける事で世帯の自立を支援する制度です。（原則、生活困窮者自立支援窓口での相談が必要です。）
- ◆緊急小口資金
傷病、賃金の未払い等の原因により、一時的に著しい生活困窮に陥ったときに貸付する制度です。
- ◆不動産担保型生活資金
住み慣れた我が家で老後を送れるように、所有しているお住まいの土地・建物を担保として生活資金を貸付する制度です。（土地評価額1000万円以上）

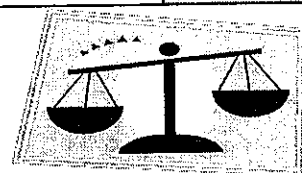
<貸付決定>

貸付は、大分県社会福祉協議会が審査を行います。審査結果によっては、資金の貸付ができない場合があります。

相談延件数			相談内容
平成30年度	令和元年度	令和2年度	緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金など
50件	85件	79件	

資金種別	貸付件数		
	H30	R1	R2
教育支援資金	1件	0件	0件
福祉資金（福祉）	0件	2件	0件
福祉資金（小口）	0件	2件	4件
総合支援資金	0件	1件	1件
計	1件	5件	5件

令和2年償還完了等件数	
種別	件数
償還完了	6件
償還免除	0件
延滞利子免除	0件
申請却下	0件



○貸付の累計件数（本年度契約分含む）

資金種別		累計件数
福祉資金	福祉費	4件
	緊急小口資金（コロナ特例除く）	7件
教育支援資金		6件
総合支援資金（コロナ特例除く）		3件
離職者支援資金		1件
計		21件

◎新型コロナ特例貸付については、別紙のとおり。

③フードバンクおおいた事業

フードバンクとは、賞味期限内でまだ十分食べられるにもかかわらず、箱が壊れたり、印字ミスなどで販売できない食品などを、企業や家庭から寄付してもらい、食べ物に困っている人や福祉施設（団体）などに届ける事業です。

【提供していただきたい食料品】：常温で長期保存（1ヶ月以上）が可能で簡単なもの
 ※食料品の確保は、県社会福祉協議会が行っています。（県社協より市社協へ配布）
 ※食料品の支援は、個人に対しては、基本的に1回限りです。

令和2年度実績

食料支援を行ったケース

利用者区分	支援件数				
	H28	H29	H30	R1	R2
高齢者一人暮らし男性	1	4	2	3	1
高齢者一人暮らし女性	0	0	0	1	1
高齢者夫婦世帯	0	0	1	1	0
高齢の親と子供世帯	1	1	0	0	3
母子世帯	1	3	0	0	0
50代男性一人暮らし	0	1	3	3	0
50代女性一人暮らし	0	1	0	0	2
40代一人暮らし男性	0	0	0	1	0
40代夫婦と子供の世帯	0	0	0	1	0
計	3	10	6	10	7



8. 津久見市よりの受託事業

①地域包括支援センター社協

地域における高齢者総合相談・支援、介護予防マネジメント、包括的組織的マネジメントを担う機関として事業の充実に努めました。

※包括支援センターの実績は別紙にて

②障がい者の相談窓口

障がい者指定相談事業所サポートセンター竹とんぼとして、障がい者や家族、介護者等からの相談に対し、必要な情報提供やサービスの利用援助等を行いました。

※竹とんぼの実績は別紙にて

③生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動推進

◆生活支援コーディネーター設置の背景

国は増加する介護に関する予算を少しでも削減したいという狙いで、介護保険制度の見直しを行いました。その中で、新たに制度設計され仕組みの一つが、この生活支援コーディネーターの設置です。高齢の方が、健康で地域で生活するためにはいろいろな課題の改善が必要となります。日常生活の維持に必要な買い物や掃除・外出支援、高齢者が生きがいをもって参加できる活動がこれまで以上に必要となり、お互いに支え合う多様な活動の充実が不可欠となります。このような、高齢者が抱える課題

を少しでも解決する仕組みづくりを行政関係機関と協力して整備することを目的として、生活支援コーディネーターの設置が行われました。

◆生活支援コーディネーターの役割

役割	①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題・課題等の提起 ②多様な主体への協力依頼（働きかけ） ③関係者とのネットワーク化の推進 （連携の体制づくり、情報共有等） ④生活支援の担い手の養成、地域に不足するサービスの開発 ⑤地域の支援ニーズ（課題）とサービス提供主体とのマッチング
配置状況	職員3名で担当

27年度の取り組み	○高齢者の生活課題把握と分析、市内社会資源の把握 ①地区懇談会による課題把握 ②市内要支援1・2の方のサービスプラン分析（課題把握） ③社会資源の把握（サロンマップ・体操教室の把握）
28年度の取り組み	○懇談会等で把握した地域課題を解決するしくみづくりの提案 つくみ安心見守りネットワーク ・市内の事業所（新聞、郵便、ガス、水道等）と見守り協定 ・市内の居宅介護支援事業所と協定（入所入院情報を民生委員へ）
29年度の取り組み	○生活支援に関する事業企画案の検討 ・高齢者の生活課題をボランティアにより支援する仕組みの検討 ・新たな集いの場の検討
30年度の取り組み	○生活支援に関する事業の立ち上げ ・つくみ困りごと支援センター立ち上げ準備 ・コミュニティ食堂立ち上げ
令和元年度の取り組み	○生活支援に関する事業の運営 ・つくみ困りごと支援センター試験運用 ・コミュニティ食堂の運営支援

●令和2年度の取り組み

(a)困りごと支援センターの運営支援

運営主体…ボランティアグループ「みんなのサポートセンター」

目的…暮らしの中でのちょっとした困りごとのある人（利用者）と、ちょっとしたお手伝いのできる人（協力者）が、ご近所さん同士で行う、有料での助け合い活動です。

支援内容…	支援内容	利用者負担金	協力者報酬	センター運営費
	ゴミ出し	1回 100円	1回 50円	1回 50円
	電球交換	1回 100円	1回 50円	1回 50円

活動実績…10名の一人暮らし高齢者へ週一回程度ゴミ出しや電球交換の支援を行った。また、緊急的に掃除・粗大ゴミの搬出を支援した。

延べ利用者数…16名

協力者登録数…71名（令和3年3月31日現在）

困りごと支援センター事例

<事例1>

●A女性 一人暮らし 下肢不自由 83歳
退院後、介護保険のヘルパーサービス（掃除・ゴミ出し・買い物）を利用していたが、少しずつ体調が改善したため、掃除は自分で、買い物は宅配や移動販売を利用、ゴミ出しは、アパートの2階に住んでいるため、支援の必要があるので、困りごと支援センターを利用することになった。このことにより、完全に介護保険の利用を卒業することが出来た。
（※移動販売は、とくし丸の方が2階まで運んでくれていた。）

<事例2>

●B男性 一人暮らし 在宅酸素・下肢不自由 74歳
退院後、介護保険のヘルパーサービス（掃除）を利用、買い物は、市外に住む息子週1回程度支援に来ているが、ゴミ出しは在宅酸素を抱えたままでは困難であり（特に雨降り等）、困りごと支援センターにてゴミ出し支援を利用している。（※ヘルパーの支援はあるが、Bさんの地区のゴミ出し日とヘルパーの支援日の日程が合わずにヘルパーの活用に至らなかった。）

<事例3>

●C女性 一人暮らし 下肢不自由 78歳
退院後、下肢の状態が悪く、住まいも2階で生活している状況。買い物や掃除は市外の娘が支援をしているが、ゴミ出しは、朝が早く娘も働いているため支援が難しいとのことで、ヘルパーを利用しゴミ出し支援をお願いしようとしていたが、困りごと支援センターの情報を知り、ゴミ出し支援を利用するようになった。よって、介護保険を利用せずに済んだ。

<事例4>

●D女性 一人暮らし 認知症（動作等は健康で問題がない） 92歳
退院後、在宅で生活するため、介護保険の申請を行うようにしていたが、本人が、デイサービスに行ったり、ヘルパーを家に入れたりすることを拒み、市外に住む子供（長女・長男）が困っていた。食事はコープの宅配弁当と長女の作り置きを食べている。掃除も長女が支援しているが、ゴミ出しは支援が難しく、困りごと支援センターの支援を受けることで、介護保険サービスを利用することなく在宅生活を行えている。（※ゴミ出しの方法は、長女長男が週一回交代で夜ゴミの仕分けし、外のポリバケツに仕分けしたゴミ袋をいれて置く。朝ボランティアが回収する。）

(b) コミュニティーカフェ・コミュニティ食堂の運営支援

目的…より多くの人たちの社会参加を促すとともに地域からの孤立を防ぐため、身近で気軽に参加でき、ふれあいを深めることが出来る場所や機会の充実を図る取り組みです。

(1) コミュニティーカフェ

カフェ名	場所	回数	一回の人数	備考
じじばばハウス	空き店舗(徳浦)	2回	20名程度	地区住民対象
ミニ喫茶いっぴく	地区公民館(堅浦)	中止	30名程度	地区住民対象

ホットハートカフェ	地区公民館(彦ノ内)	中止	90名程度	地区住民対象
井戸端会議	地区公民館(赤崎)	中止	13名程度	地区住民対象
田ノ浦カフェ	地区公民館(田ノ浦)	中止	6名程度	地区住民対象
カフェsmileスマイル	地区公民館(志手町)	中止	5名程度	主に障がい者対象

(2)コミュニティー食堂

食堂名	場 所	回 数	一回の人数	備考
みんなの食堂	カトリック教会	月2回 <small>(夏・冬・春休みは、週一回)</small>	子ども20名 高齢者4名	主に児童・高齢者等対象

④新型コロナウイルス感染症対策事業

(a)新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、非接触型体温計や飛沫防止透明版、さらに市民がWebでの会議・研修会・相談等に参加できるよう、WiFi環境の整備を行います。(災害ボランティアセンター設置時にも利用)

○市民ふれあい交流センター

設置場所	事業内容	個数等	備考
市民ふれあい交流センター	WiFi環境整備	3カ所 (センター内)	
	非接触型体温計	3台	
	飛沫防止透明窓付き板	1台(談話室)	

○社会福祉協議会事務所

設置場所	事業内容	個数等	備考
社会福祉協議会事務所	飛沫防止透明窓付き板	3台 (受付窓口・相談室)	

(b)新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら、見守り、サロン活動等を行っている自治会役員・民生委員児童委員・介護予防推進員等や高齢者世帯のゴミ出し等のボランティア活動における、感染拡大防止に必要なマスク・消毒液・非接触型体温計等を配布して支援する。

○地区社協並びに自治会配布

配布先	事業内容	個数等	備考
地区社協(26地区)	サージカルマスク	5箱×26地区=130箱	
	消毒液	1本(1ℓ)×26地区=26本	
その他自治会 (未設置3地区)	サージカルマスク	5箱×3地区=15箱	
	消毒液	1本(1ℓ)×3地区=3本	

○ふれあいサロン

配布先	事業内容	個数等	備考
サロン(61地区)	サージカルマスク	3箱×61地区=183箱	

〇つくり困りごと支援センター

配布先	事業内容	個数等	備考
困りごと支援センター	サージカルマスク	30箱	
	消毒液	10本(1ℓ)	

〇ボランティアグループ(24グループ)

配布先	事業内容	個数等	備考
ボランティアグループ	サージカルマスク	2箱×24グループ=48箱	

〇市社協

配布先	事業内容	個数等	備考
市社協	サージカルマスク	94箱	
	非接触型体温計	10台	
	消毒液	7本(1ℓ)	

合 計	事業内容	個数等
	WiFi環境整備	3カ所
	非接触型体温計	13台
	飛沫防止透明窓付き板	4台
	サージカルマスク	500箱
	消毒液	46本(1ℓ)

9. 在宅福祉サービス事業

①福祉機器の貸出事業

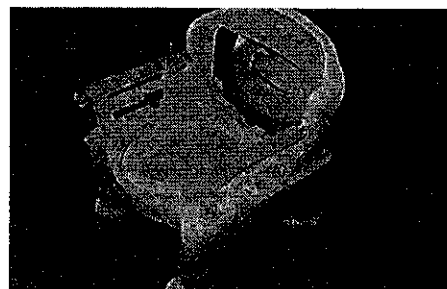
〇貸出し状況

福祉機器名	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
車イス	50	41	48	52	65	35
ポータブルトイレ	15	17	9	9	11	11
介助バー・入浴グリップ	0	0	0	0	0	4
手押し車	0	0	0	0	0	0
シャワーチェア・浴槽台	0	0	1	0	2	9
松葉杖・杖	0	0	0	0	0	1

<例えばのケース>

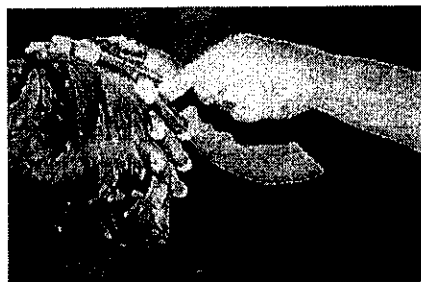
(1)施設や病院に入所や入院をしており、一時的に在宅へ戻る場合

(2)介護保険を利用中であるが、旅行に行くため一週間のみ車椅子を借りたい。



②訪問理美容サービス

在宅で寝たきりの高齢者や障がい者に対して、理美容師を派遣して整髪を行いました。
※社協より、理美容師に出張料を支払い、利用者は理美容の店内料金を理美容師に支払います。



年度	実利用者数	延べ利用回数
平成27年度	4名	10回
平成28年度	7名	12回
平成29年度	4名	10回
平成30年度	5名	13回
令和元年度	7名	20回
令和2年度	6名	12回

③ふれあい電話

ボランティアにより、一人暮らしの高齢者世帯へ、月2回電話による安否確認の声かけを行いました。（電話は社協より利用者宅へ行きます。）



年度	実利用者数
平成28年度	8名
平成29年度	8名
平成30年度	8名
令和元年度	8名
令和2年度	6名

10. 啓蒙啓発活動

- ①広報紙「たちばな」発行：年4回発行
- ②ホームページ、フェイスブックの運用
- ③市社会福祉大会の開催：式典・体験発表・講演会

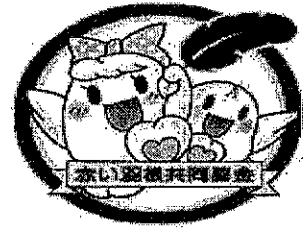
11. 共同募金活動の推進

①共同募金運動

県共同募金会の支会として、募金活動を行いました。

令和2年度実績 3,260,333円
戸別募金 2,542,900円
法人募金 243,000円
職域募金（ボールペン） 389,700円

職域募金 (バッチ)	19,992円
グルメ散歩募金	14,348円
自販機募金	17,373円
その他募金	33,011円
預金利息	9円



②歳末たすけあい募金運動

令和2年度募金実績

1,079,140円 (剰余金699,487円を含む)

令和2年度配分実績

配分先	配分金額
要保護・準要保護該当小中学生	288,000円
地域交流事業 (みんなのサポートセンター)	60,000円
地域交流事業 (うばめ園)	20,000円
地域交流事業 (ちちんぷいぷいあけぼの)	20,000円

③生活困窮者支援制度 (本会独自制度)

この制度は、歳末助け合い募金を財源とし、緊急的に金銭による支援が必要な世帯で、生活保護制度や生活福祉資金貸付制度等、他法他施策の利用が難しい生活困窮世帯へ現金の貸付を行うことにより、当該世帯の生活の安定と自立を支援する事業です。

令和2年度貸付実績・・・1件 (前年度貸付実績3件)

12. その他事業

①民生委員児童委員協議会の活動支援 (事務局)



(津久見小学校区連絡会)

民生児童委員・主任児童委員・学校
・社協職員とで意見交換



(専門部会研修会)

感染症対策についての研修

②情報の共有のためのネットワーク

民生委員児童委員協議会が取り組んでいる「高齢者世帯実態把握調査」のデータに、市社協が把握している高齢者情報(包括との関わり、サロンの登録情報等)を転記し、民生委員児童委員の活動の支援を行った。

調査数・・・7,965名

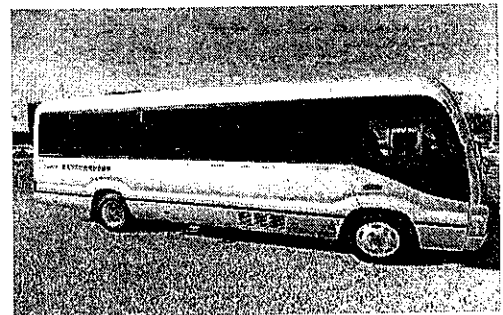
③その他福祉関係団体への活動支援

- … 身体障がい者福祉協議会・盛人クラブ連合会・母子寡婦福祉会
- 子ども会育成連絡協議会・臼津保護司会津久見分区・遺族会
- 更生保護女性会・ボランティア連絡協議会・各ボランティアグループ
- 各ボランティア協力校・社会を明るくする運動実施委員会
- 市内福祉施設事業所等連絡会

④福祉バスの運行

コロナウイルス感染防止のため、利用を中止しました。

利用団体名	運行回数		
	H30	R1	R2
ふれあいサロン	51日	47日	
高齢者学級	7日	3日	
ボランティア登録団体	15日	7日	
市役所行事	16日	7日	
社協行事(サロン以外)	3日	6日	
福祉関係団体	1日	1日	
福祉施設	5日	3日	
地区社協	6日	6日	
盛人クラブ	10日	3日	
保育所	0日	0日	
民生委員児童委員協議会	3日	1日	
遺族連合会	2日	3日	
学校関係	0日	1日	
その他団体	6日	3日	
計	125日	91日	0日



平成22年度	運行日数	144日
平成23年度	運行日数	145日
平成24年度	運行日数	156日
平成25年度	運行日数	153日
平成26年度	運行日数	132日
平成27年度	運行日数	117日
平成28年度	運行日数	109日
平成29年度	運行日数	74日
平成30年度	運行日数	125日
令和元年度	運行日数	91日
令和2年度	運行日数	0日

令和2年度津久見市地域包括支援センター社協事業報告

津久見市地域包括支援センター社協は、高齢者の総合相談窓口として、24時間365日いつでも相談できる体制の更なる充実と、年々複雑化する相談内容に、行政はもとより様々な関係機関と連携しながら対応しているところです。

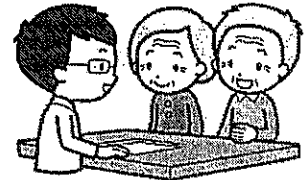
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で様々な事業を実施することが困難な状況下の中、地域のみなさんが気軽に集まり、つながりづくり、元気づくりを進める場として、感染予防対策への対応を確認しながら、ふれあいいきいきサロン事業の充実をはかり、それぞれの地域に合わせたサロン活動がおこなえるよう引き続き支援をおこないました。

また、年々増加している認知症の相談支援や、認知症の人や家族を支えるつながりを支援する「にじカフェ（認知症カフェ）」等認知症に関わる支援も、対面式から通信の発送という形に変え、つながりを絶やすことなく行いました。子供から高齢者まで一人でも多くの方に認知症についての理解を深めていただけるよう、広報活動にも取り組みました。

1、包括的支援事業

(1) 総合相談窓口

介護保険サービスにとどまらず、どのような支援が必要か幅広く把握し、関係機関や制度の利用につなげました。



① 総合相談業務

窓口、訪問、電話相談、夜間休日は転送電

24時間365日きめ細やかな対応をおこないました。

時間外転送電話による対応件数

時間帯		28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
平日	夜間早朝	23件	18件	20件	31件	23件
	深夜	0件	0件	0件	3件	1件
土日祝日	日中	118件	118件	95件	117件	88件
	夜間早朝	13件	12件	10件	12件	4件
	深夜	6件	0件	0件	0件	2件
合計		160件	148件	125件	163件	118件

電話による相談対応	46件	(72件)
現場にて緊急対応	0件	(2件)
問い合わせ・連絡調整に対する電話対応	72件	(89件)

() 内は前年度件数

相談内容と件数

相談内容	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
介護保険、その他の福祉サービス	408件	438件	410件	378件	366件
権利擁護（成年後見制度等）	3件	12件	21件	10件	5件
高齢者虐待	1件	4件	3件	5件	3件
苦情、法律	0件	0件	0件	0件	2件
その他	33件	133件	101件	66件	136件
合計	445件	587件	535件	459件	512件

② 地域包括支援ネットワーク構築事業

※社協広報紙「たちばな」（年4回発行）、パンフレット、Tシャツ

※社協ホームページ、フェイスブックの活用

※いきいきサロンの出前講座や認知症サポーター養成講座の活用

サロンや講座の開催の際は、包括支援センターの活動について説明等を行いました。

（看護師OBによるサロンでの血圧測定・コロナ禍の為活動なし）

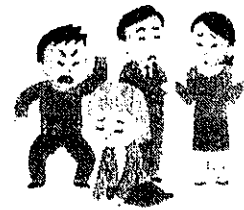


包括Tシャツ

③実態把握業務

※地域ケア会議への取り組み

3ヶ月に1回地域ケア会議のふりかえりと課題の整理を長寿支援課と一緒に
行い、地域課題の把握を行いました。



(2) 権利擁護業務

安心して生活できるよう、権利擁護のため、
必要な支援をおこないました。

①成年後見制度の活用促進

認知症等で正しい価値判断ができなくなってしまった方々の利益が守れるよう
制度の活用をすすめました。

②高齢者虐待の防止と早期発見

高齢者虐待防止連絡協議会・・・年度中の開催はなし

連絡会の開催はなかったが、虐待が疑われる相談に関しては長寿支援課、
福祉事務所と連携しながら対応をおこないました。

虐待への対応や早期発見の為、関係機関との連携や情報交換をおこないます。

③消費者被害の防止

消費者被害情報収集や関係機関に必要な情報提供をおこないました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護支援専門員、主治医
関係機関との連携や協力体制を整備。介護支援専門員に対する支援をおこないました。

①地域包括ケア会議の運営

各事業所、施設より委員を選出、居宅・訪問・通所・施設の4部会にアドバイザーを
加えて構成し、事例検討やテーマにそって全体会、代表者会、研修会の開催。

※地域包括ケア会議開催状況（代表者会、各部会、研修会）

新型コロナウイルス感染症により、会議や研修会の開催はおこなわれなかった。

②介護支援専門員への支援

※研修会の開催

市内居宅介護支援事業所の介護支援専門員への資質向上に関する支援の一つとして取
り組む予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりおこなえなかった。

※介護支援専門員連絡会への支援

新型コロナウイルス感染症の影響により、連絡会の活動に対してのみの支援をおこ
ないました。

※介護支援専門員の相談窓口

自立に向けてのケアプランの作成の指導や、事業所で一人で介護支援専門員として
業務を行う介護支援専門員からの相談対応等を行いました。また、地域の役員、民生
委員や介護予防推進員を交えた情報共有も含めたケース会議の開催を行いました。

※困難ケースへの同行訪問、支援

居宅介護支援事業所の介護支援専門員からの支援困難事例に関して、関係者や関係
事業所と連携し、必要に応じて同行や見守り対応等の支援をおこないました。

(4) 介護予防ケアマネジメント

65歳以上のすべての人を対象とした介護予防事業で、地域の実情に応じて高齢者
の能力を最大限に活かしつつ、多様なサービスを提供し、介護予防と日常生活の自
立を支援することを目的とした事業で、運動を中心とした支援計画を基に、日常生
活の自立につながるよう支援をおこないました。

◇介護予防ケアマネジメントプラン作成数 ※（ ）内の数字は新規作成件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	119(7)	114(5)	110(9)	82(2)	62(2)
5月	120(6)	121(5)	110(8)	91(1)	63(1)
6月	116(4)	108(2)	109(3)	84(1)	68(4)
7月	116(11)	116(5)	107(5)	83(2)	72(3)
8月	109(3)	114(3)	104(2)	78(4)	64(2)
9月	112(8)	115(9)	96(2)	71(2)	70(1)
10月	114(9)	120(2)	112(8)	74(5)	71(6)
11月	113(2)	112(5)	110(5)	72(1)	74(3)
12月	119(8)	120(11)	104(2)	74(4)	71(3)
1月	111(2)	121(8)	103(4)	74(2)	68(2)
2月	119(11)	118(4)	98(2)	73(4)	67(2)
3月	123(6)	114(3)	102(4)	73(4)	64(1)
合計	1,391(77)	1,403(62)	1,265(54)	929(32)	814(30)

(5) 地域ケア会議への取り組み

平成25年度より地域ケア会議開始
隔週開催。1事例30分程度で検討。
自立支援型の支援計画になっているか、
理学療法・作業療法士、管理栄養士、
歯科衛生士の3職種に薬剤師も加え
専門的な助言により、自立にむけた
計画作成をおこないました。
開催回数 13回

地域ケア会議



※地域課題検討会

3ヶ月に1回地域ケア会議のふりかえりと課題の整理を長寿支援課と一緒に
おこないました。

◇介護予防給付プラン作成状況（新規・継続）※（ ）内の数字は新規作成件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4月	83(1)	97(7)	83(4)	86(4)	83(3)
5月	82(1)	101(6)	83(2)	95(8)	81(0)
6月	88(8)	100(3)	87(6)	91(3)	79(1)
7月	87(3)	97(5)	86(2)	92(4)	79(2)
8月	86(1)	94(2)	84(0)	89(0)	74(1)
9月	87(3)	93(2)	88(5)	91(3)	74(6)
10月	88(4)	88(2)	85(1)	86(1)	77(5)
11月	88(6)	96(6)	84(1)	88(4)	77(2)
12月	87(3)	93(4)	86(4)	90(4)	74(3)
1月	89(2)	91(3)	81(1)	90(4)	71(4)
2月	88(7)	91(1)	83(2)	87(3)	70(7)
3月	89(5)	86(2)	85(2)	87(2)	73(1)
合計	1,042(44)	1,126(43)	1,015(30)	1,072(40)	912(35)

○ 委託状況

「委託」・・・ 8事業所

- (市内) 居宅介護支援事業つくみかん、介護保険サービスセンター白梅荘、
居宅介護支援事業所万里、居宅介護支援事業所おあしす
- (大分市) 居宅介護支援事業所風香、福祉介護保険オフィスあーと、
医療生協介護保険サービスセンター健生
- (佐伯市) ケアネットきりん

(6) 在宅医療・介護連携の推進

- *実施主体である津久見市（長寿支援課）、医師会と連携して事業を進める予定だったが、
新型コロナウイルス感染症の影響によりすべての会議や研修会行えなかった。
- *退院調整により、在宅への支援につなげました。

2、認知症関連事業

(1) 認知症地域支援・ケア向上推進事業

認知症の人が住みなれた地域で安心して暮らし続けるために、医療、介護及び生活支援を行うサービス機関がネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援体制を構築するとともに、認知症ケアの向上を図るための取り組みを推進しました。その体制づくりの推進役として認知症地域支援推進員を配置しています。

①普及啓発活動

※認知症サポーター養成講座の開催

認知症についての知識を深め、認知症を理解していただく取り組みをしました。

認知症サポーター養成講座開催状況

	日付	対象者	会場
1	7月17日	津久見小学校4年生	津久見小学校
2	11月6日	千怒小学校4年生	千怒小学校
3	12月3日	青江小学校4年生 と保護者	青江小学校

開催回数…3回 延べ参加人数…126人
実施内容…認知症の対応等に関するDVDの上映
寸劇・病状、予防についての話し。



※街頭活動

9月16日(水) アルツハイマー月間に合わせてリーフレット、花の種、手作りのしおりの配布を行いました。

- ・マルショク、コープおおいた津久見店前2カ所で239セット配布
- ・認知症家族の会の方、ハートの会3名、市内グループホーム職員2名市職員の参加

※図書館展示

アルツハイマー月間中(9/1~9/27) パネル展示と関連書籍の展示を行いました。

(2) 相談支援事業

認知症初期集中支援チームと連携して、必要な支援をおこないました。
認知症関連相談件数 104件(内推進員が関わった件数 35件)



(3) 認知症カフェの開催状況

新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は開催を中止しました。
にじカフェ休止期間、6月より月1回の通信を参加者に送付しました。

(4) 認知症家族への支援

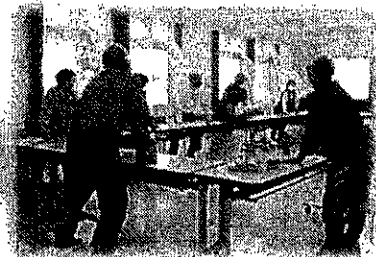
※介護者のつどいの開催・・・毎月1回第2水曜日10:00~
市民ふれあい交流センターにて

新型コロナウイルス感染症の影響にて年回3回の開催となりました。

(7月15日(水)、10月14日(水)、11月11日(水))

認知症について理解を深め、介護の悩みを相談、共有するリフレッシュの場として活動をおこないました。

癒しのひとときを



密を避けてフレイル予防

⑤各種会議・研修会への参加

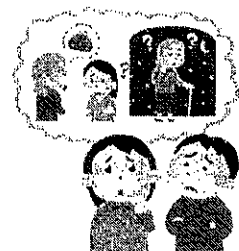
- 認知症地域支援推進員等連絡会議… 3回
- 認知症施策市町村担当者会議… 2回
- 若年性認知症支援者向け研修会… 1回
- 地域包括ケア事業マネジメント研修会… 3回
- チームオレンジコーディネーター研修… 1回
- ずいしんいんセッション… 4回
- ピアサポート実績報告会… 1回
- 認知症医療介護推進フォーラム… 1回
- 認知症講演会… 1回
- 若年性認知症自立支援ネットワーク会議… 1回
- 認知症初期集中支援チーム員合同研修会… 1回
- 認知症医療連携協議会… 1回
- 認知症地域支援推進員報告会… 1回
- きぼうフォーラム… 1回

(2) 認知症初期集中支援事業

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を推進しました。

訪問支援状況

	令和2年度
訪問対象人数	3名
訪問回数	7回



チーム員会議…新型コロナウイルス感染症の影響で行いませんでした。

3、高齢者サロン活動支援事業

ふれあいいきいきサロンのコーディネートを通じて各サロンの課題等に寄り添い新型コロナウイルス感染症の予防対策への理解と周知に協力いただき、サロンの実施内容、開催の方法を提案しながら、めじろん元気アップ体操をはじめとする体操にも取り組みました。

令和2年度サロン別参加者実績

	地区(サロン)名	実施回数	各サロンへの参加状況					平均参加人数
			登録者数	延参加者	65歳以上	60～64歳	その他	
1	千怒区	1	170	59	36	1	22	59
2	千怒区(両家)	5	56	77	60	1	16	15
3	千怒区(4部)	0	24	0	0	0	0	0
4	千怒区(6部)	3	13	29	27	0	2	10
5	千怒区(旭町)	6	94	140	134	0	6	23
6	岩屋区(えびす)	9	17	119	119	0	0	13
7	岩屋区(大友)	1	17	12	11	0	1	12
8	岩屋区(高洲)	0	27	0	0	0	0	0
9	宮本区	4	64	134	106	0	28	34
10	彦ノ内区(原、谷川)	6	42	77	71	5	1	13
11	彦ノ内区(路木)	6	62	148	135	13	0	25
12	彦ノ内区(千久中)	6	43	64	53	0	11	11
13	彦ノ内区(成守、文京)	6	21	46	46	0	0	8
14	中田区(ふれあい)	6	31	122	90	14	18	20
15	中田区(盛人ク)	1	76	21	17	0	4	21
16	西ノ内区	3	60	117	110	3	4	39
17	警固屋区(セメント町)	3	26	40	23	4	13	13
18	警固屋区(港町)	3	14	31	28	0	3	10
19	警固屋区(元町)	3	30	35	32	0	3	12
20	警固屋区(井無田町)	3	28	47	33	0	14	16
21	警固屋区(新町)	3	5	13	10	0	3	4
22	川上区(岡町)	2	44	48	39	2	7	24
23	川上区(志手町)	2	43	32	19	0	13	16
24	川上区(中町)	4	15	50	47	3	0	13
25	川上区(小園町)	0	53	0	0	0	0	0
26	川上区(地蔵町)	2	34	41	38	2	1	21
27	川上区(門前町)	0	33	0	0	0	0	0
28	川上区(桜ヶ瀬町)	2	53	37	26	0	11	19
29	青江区(東)	2	43	68	63	4	1	34
30	青江区(西)	3	30	37	33	0	4	12
31	畑区(畑)	7	30	163	134	0	29	23
32	畑区(岩屋口)	4	24	63	59	0	4	16
33	川内区	0	73	0	0	0	0	0
34	入船区(ふれあい)	6	46	218	206	6	6	36
35	入船区(みつば)	5	61	165	156	0	9	33
36	徳浦区(1)	1	173	77	67	1	9	77
37	徳浦区(2)	7	34	115	98	0	17	16
38	徳浦区(3)	0	19	0	0	0	0	0
39	徳浦区(5)	0	30	0	0	0	0	0

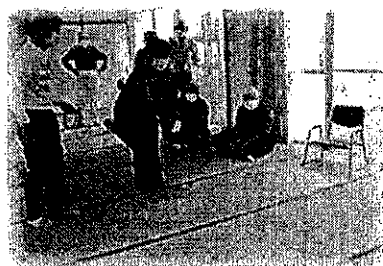
40	堅浦区(ひまわりの会)	0	63	0	0	0	0	0
41	堅浦区(なののはな)	0	34	0	0	0	0	0
42	長目区(浦代)	2	17	18	15	0	3	9
43	長目区(長目)	3	15	33	21	0	12	11
44	長目区(釜戸)	1	24	15	9	0	5	15
45	長目区(伊崎)	2	12	21	21	0	0	11
46	長目区(楠屋)	1	11	9	6	0	3	9
47	無垢島区	0	28	0	0	0	0	0
48	日見区	2	95	77	71	2	4	39
49	福良区	1	55	29	21	0	8	29
50	網代区	1	57	35	32	0	3	35
51	江ノ浦区	2	32	35	18	0	17	18
52	赤崎区	2	22	43	33	0	10	22
53	赤崎区(井戸端会議)	0	18	0	0	0	0	0
54	四浦1区(荒代)	6	19	71	71	0	0	12
55	四浦1区(鳩浦)	4	30	101	76	4	21	25
56	四浦2区(刀自ヶ浦)	0	45	0	0	0	0	0
57	四浦2区(深良津)	0	42	0	0	0	0	0
58	四浦3区(落ノ浦)	2	61	76	74	0	2	38
59	四浦3区(田ノ浦)	3	19	34	24	3	7	11
60	四浦6区(高浜)	6	27	114	91	6	17	19
61	保戸島区	0	73	0	0	0	0	0
	合計	163	2,557	3,156	2,709	74	372	21
	令和元年度実績	506	2,685	10,489	8,821	221	1,447	21

社協・包括職員サロンへの派遣実績

実施月	回数	派遣先
4月		
5月		
6月	2	千怒(両家)サロン 他
7月	12	青江(東)サロン 他
8月	1	旭きずなサロン 他
9月	2	千怒(両家)サロン 他
10月	12	四浦3区(田ノ浦)サロン 他
11月	18	千怒区サロン 他
12月	5	長目区(長目)サロン 他
1月	1	四浦1区(荒代)サロン 他
2月	4	宮本区(なかよし)サロン 他
3月	8	入船区(みつば会)サロン 他
合計	65	

内容

- ・体操
- ・軽スポーツ(ポケットボール、わなげ等)
- ・DVD上映(綾小路きみまろ、三遊亭歌之助等)
- ・脳トレプリント
- ・出前講座
- ・血圧測定
- ・訪問
など



ふれあいいいききサロン連絡会
令和2年度については未開催。

令和2年度サポートセンター竹とんぼ事業報告

本年度は、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問や会議、研修会等あらゆる機会に感染防止対策の徹底が求められ、Webの活用ややむを得ず中止とする等、例年になく難しい対応が求められる1年となりました。そうした中、引き続き津久見市より障がい者相談支援事業の業務を受託し、知的障がい者、身体障がい者、障がい児を中心に相談支援を実施し、コロナ禍でも適切に福祉サービス等を利用して、地域でその人らしい自立した生活が送れるよう支援を実施しました。また、同様に市より受託している「障がい者に対する虐待防止対策事業」についても、社会福祉課と連携し、障がいに対する理解促進や障がい者への虐待防止等についての普及・啓発を行いました。

【年間実利用者数（障害区分別）】

()内は前年度からの増減

	身体障がい	重症心身障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	高次脳機能障がい	難病	その他	合計(人)
障がい者	14(+1)	3(+0)	69(-5)	10(+1)	5(-2)	1(+0)	0(-1)	2(-2)	104(-8)
障がい児	0(-2)	2(+0)	12(+1)	1(+1)	3(-1)	0(+0)	0(+0)	2(-3)	20(-4)
計	14(-1)	5(+0)	81(-4)	11(+2)	8(-3)	1(+0)	0(-1)	4(-5)	124(-12)

【活動内容】・・・相談支援専門員による個別対応件数

()内は前年度実績

訪問・同行	来所相談	電話相談等	個別支援会議等	関係機関	その他	合計(人)
280(235)	66(62)	252(238)	171(221)	521(352)	2(3)	1292(1111)

【相談受付】

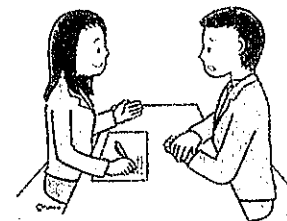
相談区分	R1	R2
福祉サービス利用等に関する支援	798	900
障害や症状の理解に関する支援	1	8
健康・医療に関する支援	84	102
不安の解消・情緒に関する支援	12	25
保育・教育に関する支援	7	43
家族関係・人間関係に関する支援	7	47
家計・経済に関する支援	17	22
生活技術に関する支援	9	47
就労に関する支援	76	31
社会参加・余暇活動に関する支援	4	0
権利擁護に関する支援	0	0
その他	40	89
合計	1055	1314

【サービス等利用計画】

種別	R1	R2
計画作成	86	95
モニタリング	145	165

【虐待に関すること】

区分	R1	R2
相談受付	0	0
普及啓発活動	31	18



【時間外相談対応件数】 (日中8~18時、早朝夜間6~8、18~24時、深夜0~6時)

平日		土・日・祝日			合計	電話相談	現場にて対応	問合せ調整等
早朝夜間	深夜	日中	早朝夜間	深夜				
17	0	11	1	0	29	10	0	19

【会議等】

◇個別支援会議（100件）

障がいのある方に適切な支援が行えるよう、本人や家族・関係機関等に参加していただき、支援内容等について協議を行いました。

◇地域自立支援協議会（18回）

各部会（地域環境・地域生活・児童・就労支援）に参加し、災害時の対応についての検討や個別事例の検討、市内全ての幼稚園や保育所への巡回訪問等に参加しました。

◇その他の会議や研修（53回）

県障害者相談支援事業推進協議会の研修会や支援学校・就学支援委員会及び調査部会、区分判定審査会等に参加しました。

障がいについて講話（津久見小学校4年生46名 11月9日）



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふれあいバス旅行、うばめ園まつり等は、中止となりました。